

平成30年度農林水産省概算予算要求発表

～重点事項から対応策を読み取ろう

農林水産省より来年度の概算予算要求額が発表された。概算要求額は2兆6,525億円で昨年比15%増となっている。内訳を見ると公共事業費は前年比20.3%増の8,222億円、非公共事業費は昨年比12.7%増の1兆8,303億円となっている。公共事業費は昨年よりも全体で147億円の増額となっているが、災害復旧等事業費は前年同額の193億円に据え置かれているものの一般公共事業費の要求額は増えている。来年度予算も昨年に引き続き農地集約や大規模化に関する農地の大区画化等の推進事業や農地耕作条件改善事業、果樹支援関連対策、農業農村整備事業として水田の畑地化・汎用化の推進として土木事業の公共工事費用が増加している。さて、来年度の予算において雇用している農業者や大規模化経営を計画・実行している方々が知って得するトピックスとしては、農業支援外国人適正受入サポート事業や収入保険制度であろう。収入保険制度については農産物の品目にとらわれず自然災害による収入減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する仕組みで当年収入が基準収入の9割を下回った場合に下回った額の9割を補填する掛け捨てと積み立て方式で選択できる制度を目指すものとする。人材の確保や天候に左右される農産物生産においてはこれらの制度の充実化が以前より望まれていたことで朗報とも言えよう。

さて、肥料商に対してのトピックスとして、水田活用の直接支払交付金は今年度並水準となる3,304億円が要求されており、飼料用米等、今年も水田の利活用作物への着実な肥料等資材販売が期待出来るだろう。また、品目別生産振興対策として新規事業でばれいしょ増産輪作推進事業として30億円が要求されている。これは主産地である北海道のばれいしょが確保しづらい環境となってきたためだ。北海道では通常ばれいしょは3輪作体系で作付されているのだが、3輪作体系ではそうか病等により収量や品質の確保がしづらくなってきている。そのため病気に掛かりにくい品種の開発、普及や生産現場では緑肥の作付を推奨して4輪作栽培体系の導入を図る、或いは北海道だけでなく他府県での生産を促し新たな産地形成を奨励するといった事業が予算化されており、これに合った肥料等の資材提案も期待出来よう。また、東京オリンピック・パラリンピックで選手ほか大会関係者に対して適切な管理手法で生産された食材を確保することも念頭に置いて、GAPの拡大、推進加速化についても予算が要求されている。昨年末に制定された農業競争力強化プログラムに関しては、着実な実施に向けた調査として2億円要求されている。

区 分	平成30年度農林水産予算概要要求の骨子(総括表)		単位:億円
	29年度 予算額	30年度 要求・要望額	対前年比
農林水産予算総額	23,071	26,525	115
1.公共事業費	6,833	8,222	120.3
一般公共事業費	6,641	8,030	120.9
災害復旧等事業費	193	193	100
2.非公共事業費	16,238	18,303	112.7

今年のお米を食べ比べ

社内食味判定会～あくまでプライベートな判定会です！

当社本店社員での井戸端会議から決まった食味判定会。普段、家で何気なく食べているコシヒカリの味が落ちたと家庭内で話が出たとのこと。何でだろうという事で討論する事となった。また、今年デビューした新潟県の期待品種「新之助」も合わせて自宅から持ち寄り社内では食べ比べと食味計をかけてその相関性を取ろうという事になり実施してみた。

地方に出かける営業マンは各地のお米を食べる機会も多いだろうということで、品種も当てる意地悪目利きコンテストも実施した。さらに、たまたま販売会議でお越しいただいていた肥料メーカーさんにも加わって頂き、品評会を実施した。同じ炊飯器で同じ水量で3合のコメを炊いたものを試食し批評し合った。島津社の食味計で計測すると、話が出たコシヒカリ・つや姫・新之助はともに80点越えの良食味米であった。アミロース含有量は0.1の違いでほぼ変わらず、新之助のみタンパク質含有量が5.8%とコシヒカリとつや姫と



比べてやや高いものの（コシヒカリ・つや姫は5.2%と5.3%と互角）良食味米のランクにあることは間違いない。さて、どのコメに人気が出たかという点、話の出たコシヒカリも健闘し人気が出た格好になった。炊き立てのコシヒカリは甘味が少なく粘りというよりもやや硬い印象があった。つや姫は甘味があり粘りもそこそこ。新之助は歯ごたえが2品種に比べて劣るものの食べやすい米の印象。コメのツヤについては断トツでつや姫の見た目の白度がよいとの判定が多かった。毎日食べなれているコメの食味に近いものを好むためなのか、意見は三者三様であり面白い結果となった。また、冷めた状態でのコメを食べ比べるとまた評価も三者三様。炊き立てのコメで一番美味しかったと言っていた品種から冷めたら違うコメのほうが口合っているという評価も聞いた。天候、収穫時の水分状態、流通保管状況、炊き方でも全く異なるようだ。色んな経験談が出て楽しい判定会となった。読者の皆様、今年のお米はどんな味ですか？

商品紹介 植物調整剤 CX-10 日本カーバイド工業株)

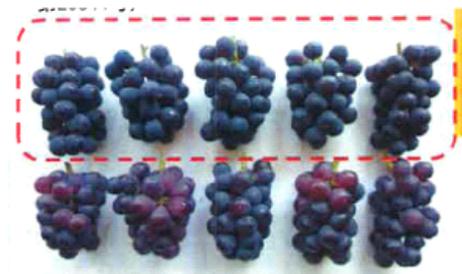
《ピオーネ無加温栽培での着色向上と収穫期の前進化に効果》

ピオーネ栽培における2月中下旬にフィルム被覆する作型において1月中旬にシアナミド0.5%液剤を散布する事により休眠打破を促し、生育促進させ発芽期が約10日、開花期と収穫盛期が約6日前進し果皮の色回りが良くなる効果が認められた。（写真は鹿児島県農業開発総合センター試験資料より抜粋）これによりお盆前の需要期に高品質なピオーネが出荷できる技術だ。詳しくは当社営業スタッフまでお問合せください。

シアミナド散布と育成相			
試験区	発芽期	開花盛期	収穫盛期
散布	3月15日	5月6日	8月5日
無散布	3月25日	5月12日	8月11日

※平成24～26年の3か年平均

※シアミナドの商品名：CX-10（農林水産省登録第20344号）



果房の色（上段：散布、下段：無散布）

本年も当紙をご愛読下さいまして有難うございました。今年も一年間、各地の話題や農業の話題など、様々なニュースをご紹介して参りましたがいかがでしたでしょうか。当社は28日午後から1月3日まで休業させていただきます（4日から通常営業です）。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp